

しんねんれいはい
新年礼拝



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇23・1～6
主はわたしの牧者
【主】は私の羊飼い。私は乏しい
ことがありません。詩篇23・1
主を牧者として生きる生涯の
幸いを味わう者となる。

目標

1月7日（日）

聖書
聖句

詩篇23・1
【主】は私の羊飼い。私は乏しいこ
とがありません。 1節

みんな知ってるモコモコの羊さん。げんきで
生きていくには飼い主さんのおせわがととてもた
いせつなんだよ。

だって、毒草やきれいなお水を見分けられな
くて死ぬこともあるし、草をさがしてまいごに
なるし、ひっくりかえったらもうおきあがれな
いし、こわがりで弱くてオオカミやクマに食べ
られることも！！でもね、羊さんのいいところ
は飼い主がだれかをちゃ～んと知っているとこ！

じつは人間も、神様のおせわがなければ死の
道に向かってしまう羊とおんなじ！あなたは
神様が飼い主だって、ちゃんと知ってますか？

いの
祈り

天のお父様、あなたの守りとおせわがな
いと生きられない、羊と同じわたしで
す。今週もどうか助けてください。

1月8日（月）

聖書
聖句

詩篇23・2
主は私を緑の牧場に伏させ／いこ
いのみぎわに伴われます。 2節

羊飼いは、いつも羊の安全と安心のために
いっしょうけんめいはたらきます。

羊も、羊飼いが守ってくれて、虫やオオカ
ミがいない場所だとわかると草むらでごろご
ろできるし、羊飼いがキレイなお水があると
ころにつれて行ってくれるから元気なんだね。

神様が「こっちだよ」「こうしなさい」と聖書
の中からおしえるとき、それは、罪の草むらに
ねそべったり、悪の水をのんでしまわないよう
に、守ってくれてるってことだよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしを守るためにくださ
るお言葉をありがとうございます。その
言葉の方向にすすめますように。

1月9日（火）

聖書
聖句

詩篇23・3
主は私のたましいを生き返らせ／
御名のゆえに 私を義の道に導か
れます。 3節

羊飼いは、自分の羊たちをとっても大事にし
ます。たとえ一匹だって失いたくありません。
ときには、まいごになったり、穴におちる羊も
いますが、そんなときは自分もきけんだとわかっ
ていてもいっしょうけんめい探すのです！

神様は、ときどき罪の穴におちてどうしようも
ないわたしたちのことも放っておかれませんか。な
んとかして救いだし、神様のよろこぶ人生を生き
てほしいと、イエス様を身代わりにしてまで魂
を生き返らせるお方です。

いの
祈り

天のお父様、なにがあってもわたしのこ
とを救いたいとねがっていてくださる
こと、そして身代わりのイエス様を感謝
します。

1月10日（水）

聖書
聖句

詩篇23・4

たとえ 死の陰の谷を歩むとして
も／私 はわざわいを恐れませ
ん。あなたが ともにおられますか
ら。 4節

自分のいのち、たのしくてかんたんにゴール
までいけたらいいなあって思うよね？ だけど、
生きてるんだもの、そんな楽にはいかないね。
ときには、つらくかなしいこと、くるしいこと
もあるでしょう。でもわすれないで！

あなたの飼い主、神様はどんなときも、あな
たを見はなさず、見すてないこと！ 神様が
いつもいっしょにいてくれるからぜったいだ
いじょうぶ！ たとえ死がおそってきてもだよ！

いの
祈り

天のお父様、自分で死に勝つことはでき
ませんが、あなたはそんなときにもいっ
しょにいてくださるのですね。感謝しま
す！

1月11日（木）

聖書
聖句

詩篇23・4

あなたのむちとあなたの杖／それ
が私の慰めです。 4節

羊飼いは、いつも杖とむちを持って、羊と
いっしょに歩くんだって！ 羊をいじめるの？
いいえ！ 野原にはへびなど、あぶない生き物が
でるでしょう？ 羊飼いは、自分を守れない羊
のかわりに、むちや杖でたたかってくれるん
だ！ あと、道がくらくて不安なとき、杖でさわ
られると安心するんだって！

神様は、罪や悪魔に、自分の力で勝てない
わたしたちのことをよく知っておられるね。だ
からこそ、神様の力やたすけをもらって生き
ているんだよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしが罪や悪魔から守ら
れているのは、あなたの杖とむちがある
からです。あなたにもっとたよりま
す！

1月12日（金）

聖書
聖句

詩篇23・5

私の敵をよそに あなたは私の前
に食卓を整え／頭に香油を注い
でくださいます。私の杯は あふ
れています。 5節

自分をおそってくる敵が目の前にいたら「ごは
んどころじゃないよ！」って思う？ でも、神様の
守りと強さはカンペキ！ だからこそ、「だいじ
ょうぶ！ 安心しなさい、あなたを祝福するよ！ わ
たしが力づけてあげよう！」と、敵がいるとき
にもあなたのお世話をできるのです。

敵がいなくなるわけではないけれど、神様にた
よりきっている人は強くいられるんだ！
神様の祝福があふれるあなたでいてね！

いの
祈り

天のお父様、たとえ敵が目の前にいても、
あなたによって強くいられますように。
あなたの祝福がわたしにもあふれま
すように！

1月13日（土）

聖書
聖句

詩篇23・6

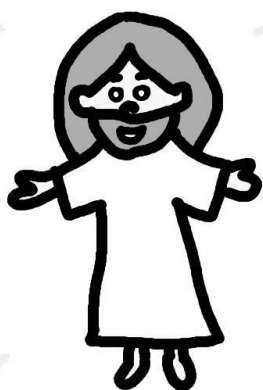
私はいつまでも 【主】の家に住ま
います。 6節

罪においかけてられている人の人生のゴール
は、とても悲しいものです。その人たちは、自分
がどこに行くのかもわからないで生きている
のです。でも、神様を信じているあなたは、はっ
きりとした答えがあるよね？ あなたのゴール
は？

そう、天国！ たとえ、生きているときに成功
したように見えなくても、どんなときも神様の
恵みにおいかけてられているなら、天国という、
すばらしいゴールにたどりつくんだよ！ これ
からも神様といっしょに生きていこうね！

いの
祈り

天のお父様、わたしにも、天国という
はっきりしたゴールを見せてくださり
ありがとうございます。これからもあな
たといっしょに生きていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 16・13～20
キリストへの信仰告白
あなたは生ける神の子キリスト
です。 マタイ 16・16

目標

イエス・キリストへの正しい信
仰を告白する者となる。

1月14日(日)

聖書
聖句

マタイ 16・13～20
あなたは生ける神の子キリストです。
16節

「わたしはだれでしょう？」と、イエス様の質問です。「人々はわたしのことをだれと言って
いるのか」と弟子たちに尋ねました。彼らの口か
らいろんな答えが返ってきます。「バプテスマの
ヨハネ」、「エリヤ」、「エレミヤ」、「預言者の一人」。
イエス様は次に弟子たちの方を見つめて、「あな
たがたは、わたしをだれだと言いますか」と尋ね
ると、シモン・ペテロが答えます。「あなたは生
ける神の子キリストです」と。「正解！」イエス
様は満足されました。

いの祈り 天のお父様、ペテロのように、私も「イ
エス様こそ生ける神の子、キリストです」
と、心より信じて告白します。

1月15日(月)

聖書
聖句

マタイ 16・13
ピリポ・カイサリアの地方に行かれ
たとき、イエスは弟子たちに「人々は
人の子をだれだと言っていますか」
とお尋ねになった。 13節

イスラエルに詳しい人から聞きました、「ピ
リポ・カイザリヤはね、川がはじまる所で、ちょ
うど水が分かれるところにあるんだ。その場所で
イエス様は大切な質問をしたんだよ」と。つまり、
最初は同じ場所であっても、そこから、正反対
に水が流れていくと、行き着く先は大きく違っ
てしまいます。イエス様は立派な預言者です
か？ 人間ですか？ それとも神ですか？ 私た
ちは、イエス様を「生ける神の子、救い主」と
信じて、救いの道を歩みましょう。

いの祈り 天のお父様、とても大切な信仰の告白
「イエス様は神の子、救い主」と信じ告白さ
せてくださり、感謝しています。

1月16日(火)

聖書
聖句

マタイ 16・14～16
あなたがたは、わたしをだれだと言
いますか。 15節

バプテスマのヨハネと言えば、イエス様より
半年お兄さんで、イエス様のために道を備えた
「人間」でした。エリヤは大いなる奇跡の数々を
行い、偶像崇拝者と大胆に対決した預言者、つ
まり「人間」でした。エレミヤも涙の預言者、
他の預言者たちもみんな「人間」でした。どん
なに神様に用いられてもね。そこでイエス様は、
弟子たちに、また今日、あなたにも尋ねられま
すよ。ペテロと一緒に「あなたは生ける神の子キ
リストです」と、告白しましょう。

いの祈り 天のお父様、イエス様は他のどんな人間
とも違う「神の子キリストです」とハッ
キリと信じ、告白します。

1月17日（水）

聖書
聖句

マタイ 16・15～16

シモン・ペテロが答えた。「あなたは生ける神の子キリストです」。

16節

さすがペテロさん！ バッチリ、100%正解の答えでした。イエス様は、きっと内心ドキドキだったことでしょうね。まちがってはいけません。神様は生きておられます。その御子イエス様も、十字架にかかられましたが、三日目によりみがえられて、生きておられます。いつもわたしと共に歩いていてくださいます。そして「キリスト」、「油注がれたメシア」、「救い主」なのです。ですから、わたしたちを罪から救ってくださるとともに、毎日、救い続けてくださるのです。

いのちの祈り 天のお父様、今は私たちの目には見えませんが、イエス様が毎日共におられる、生きておられる救い主と信じます。

1月18日（木）

聖書
聖句

マタイ 16・17

このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。

17節

100%正解の答えをしたペテロさんに、イエス様は言われました。「バルヨナ・シモン、あなたは恵まれた、さいわいな人だよ。あなたにこの大切な 100%正解の答えをあらわしてくださったのは、どんな人でもない。また、あなた自身から出たものでもない、実は、天におられるわたしの父なる神様が教えてくださったことですよ」と。ちょっと得意顔だったペテロさんもそう言われて、「そうだ、そうだよな」って、うなずいて父なる神様に心から感謝したのでした。

いのちの祈り 天のお父様、あなたはいつも私たちの心を開いて、大切なことを教えてくださいますから本当に感謝です。

1月19日（金）

聖書
聖句

マタイ 16・18

わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。

18節

イエス様はつづいて大切なことをシモンに言われています。「あなたはペテロ（岩）だよ。そして、わたしはあなたが告白した信仰という岩の上に、わたしの教会を建てよう」と。イエス様の教会の土台は「この岩」です。つまり、「イエス様は生ける神の子キリストです」という信仰の告白なのですね。そう信じてバプテスマを受ける人たちの集まり、それが教会です。その教会には黄泉の力も打ち勝つことはできないのです。何と心強いことでしょうか！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を「生ける神の子キリスト」と信じ告白する教会がいかに強いものかよくわかりました。

1月20日（土）

聖書
聖句

マタイ 16・19

わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。

19節

かぎの中のかぎ！ それが「天国のかぎ」でしょう。イエス様を「生ける神の子キリストです」と信じ告白する人は、天国のかぎが与えられ、やがて、天国に入れてもらえるのですね。そればかりでなく、今も天国のかぎを自由に使って、天国の祝福をふり注いでもらうことができるのです。それが「お祈り」という天国のかぎです。あなたはよくお祈りをする子どもですか？ お祈りをすれば生きておられる神様ですから、必ずこたえてもらえるのです。

いのちの祈り 天のお父様、すばらしい天国のかぎ（お祈り）を用いて、もっともっと天の祝福を注いでもらえますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 16・21～26

十字架を負って

だれでもわたしについて来たい
と思うなら、自分を捨て、自分の
十字架を負って、わたしに従っ
て来なさい。 マタイ 16・24

目標

自分に与えられた十字架を負い、
キリストに従う者となる。

1月21日(日)

聖書
聖句

マタイ 16・24

だれでもわたしについて来たいと
思うなら、自分を捨て、自分の十字架
を負って、わたしに従って来なさい。
24節

今日のお言葉は、イエスを信じること、
従って生きることってなんだろう？ どうす
ることだろう？ って考えさせてくれるよね。

でもイエスはね、あなたが苦しい人生を生
きるようにすすめてるんじゃないんだ。あなたが
神様のために今できることをしてほしい、そ
れがあなたにとっての十字架だよと、教えてく
ださってるんだよ。

今週一週間、「あなたの十字架」を探して
みてください。

祈り

天のお父様、わたしがあなたのために今
できることをはっきり見つけられます
ように。

1月22日(月)

聖書
聖句

マタイ 16・21

多くの苦しみを受け、殺され、
三日目によみがえらなければならな
いことを、弟子たちに示し始められ
た。 21節

イエスは、ご自分がなんのために人となっ
たのか、よくご存知でした。

多くの人は、有名になるため、お金持ちにな
るため、楽しむため、自分だけのために自分の
人生を使おうと考えます。でも、イエス様は
どこまでも、神様のご計画のため、それが
十字架につくことだとわかっている、従う
ことをやめたりはしませんでした。

あなたはなんのために自分の人生を使いま
すか？ 神様のためですか、自分のためですか？

祈り

天のお父様、わたしも、自分のためだけ
でなく、あなたに従うことをやめず、生
きていけますように。

1月23日(火)

聖書
聖句

マタイ 16・22

主よ、とんでもないことです。そん
なことがあなたに起こるはずがあり
ません。 22節

自分の考えてることや理想と、現実がち
がったとき、きっと「そんなバカな！」とだれ
もが言ってしまうよね。ペテロもそうだったみ
たい。

「信じている」と言うとき、人はきっと自分
にとって理想的ですばらしいから、と思ってい
るのです。でもそれは、自分の思いどおりに
神様を作り上げたいだけではないかな？

神様のご計画が正しいのか、自分のほうが
神様よりも正しいのか、自分の心の中をたし
かめてみてください。

祈り

天のお父様、自分の思い通りになること
ばかり求めるわたしをおゆるしくださ
い。

1月24日（水）

聖書
聖句

マタイ 16・23

あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。 23節

きっとペテロは、自分は正しいと思っていたでしょう。でも、イエス様は「それは神様の思いではなく、人の思いだ」と言ったのです。

ところで、「正しい」という言葉は「一」と「止」とにわけることができますね。

本当に正しいかどうか、自分は本当に神様に喜ばれることをしているのだろうか？と一度、立ち止まって、お祈りしてみてください。聖書にはどう書いてあるだろうか、神様はどう思うだろうか、と考えることで、あなたの人生に正しさが与えられると思うよ。

いの祈り

天のお父様、正しく生きるために、一度立ち止まって、あなたのことを思うことができますように。

1月25日（木）

聖書
聖句

マタイ 16・24

だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。 24節

神様がイエス様の十字架を用意してくださらなかったら、永遠の命と天国はなかったね。命をなげだしても、人が受けるすべての罰を代わりに受けるとしても、人を愛し、神様を愛して従われたイエス様、ありがとうございます！

あなたのまわりにも、救いがひつような人、希望がなくて悲しんでいる人がいると思います。あなたは、その人たちに永遠の希望をとどけることができるチャンスを、イエス様からもらっていることを忘れないでくださいね。

いの祈り

天のお父様、自分の救いだけを喜ぶのでなく、まわりの人にも喜びをとどけられますように。

1月26日（金）

聖書
聖句

マタイ 16・25

自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。 25節

人はみんな、毎日なにかをえらびながら生きています。えらんでえらんで、その答えがつか重くなって、一つの人生になっていくのです。

なんの問題もないように見える人生にも、「永遠」という神様からの目で見たととき、大きな問題がかくれていることがあります。あなたはどんな人生を生きたいですか？

自分のために生きて天国に行かない人生、神様のために生きて天国に行く人生、どちらの喜びが大きいでしょう。人生は長くても100年くらい、でもその先には永遠があるのです。

いの祈り

天のお父様、永遠のことを考えて一つ一つえらべますように。

1月27日（土）

聖書
聖句

マタイ 16・26

そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。 26節

どんなお金持ちも、どんな有名人も、どんな人からほめられるすばらしい人も、神様の前に立てばみんな同じ人です。

天国は、すばらしい人のための天国ではありません。天国行きのチケットを持った人が行くところなのです。

それは、人生の中で、イエス様と出会い、知り、イエス様を「わたしの救い主です」と信じた人に与えられるものです。

持ち物や行いではなく、信仰によるのです。

いの祈り

天のお父様、どんなことをしたかより、どう信じているかのたいせつさを教えてください、ありがとうございます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 17・1～8

山上での変貌

これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け。マタイ 17・5
栄光の主キリストを覚え、御声を聞き、従う者となる。

目標

1月28日（日）

聖書
聖句

マタイ 17・1

イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。1節

皆さんは、山に登ったことがありますか？聖書をよく読むとわかるんですが、イエ様はたくさん山に登っておられます。お祈りするときや大切なことがあるとき、イエ様は山にお出かけされたのです。

今回、イエ様は高い山に登られるようですよ。おともするのはペテロ、ヤコブ、ヨハネの3人だけ。「自分たちだけが選ばれた！」と3人はきっとルンルン気分だったでしょう。神様からの大切なメッセージがあるにちがいありません。ドキドキする！

いの祈り

天のお父様、わたしも神様のメッセージをドキドキ楽しみに聞きます。わたしの心を開いてください。

1月29日（月）

聖書
聖句

マタイ 17・1～2

弟子たちの目の前でその御姿が変わった。顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。2節

高い山に登ったイエ様と弟子たち。イエ様はなにをするのかな？と弟子たちが考えていたら、なんと、弟子たちの目の前でイエ様の顔と着ている服が光りだしたのです！パーッキラキラッ！太陽のように光りかがやくイエ様！見ていた弟子たちは、あまりのおどろきに、ことばもでません！

イエ様になにがおきたの？と思いますね。でも、このお姿こそ、神の子イエ様の本当のお姿。イエ様は、ご自分が本当に神の子であることを見せてくださったのです。

いの祈り

天のお父様、イエ様が本当に神の子であることを心から信じます。

1月30日（火）

聖書
聖句

マタイ 17・1～3

そして、見よ、モーセとエリヤが彼らの前に現れて、イエスと語り合っていた。3節

かがやくイエ様だけでもおどろきなのに、さらにおどろくことが起こりました。光の中で、なんと、旧約聖書に出てくるモーセとエリヤがイエ様とお話していたのです！なにを話していたかという、イエ様がこれから十字架にかかれることについて話していたのです（ルカ 9・31 も読んでみてね）。

イエ様は、旧約の時代から預言されていた救い主。光りかがやく神の子であられるのに、わたしたちの罪のみがわりに十字架にかかってくださったのです。

いの祈り

天のお父様、神の子であるイエ様が、わたしのために十字架にかかれたことを心から感謝します。

1 月 31 日 (水)



マタイ 17・1～4

主よ、私たちがここにいることはすばらしいことです。 4節

かがやくイエス様とモーセとエリヤ。見ていたペテロはこう言いました。「イエス様、ここにわたしたちがいることはすばらしいことです！ イエス様とモーセとエリヤのために一つずつ幕屋をつくります！」…ペテロはおどろいて、パニックをおこしていたのです。このことはペテロにとって、けっして忘れられないできごとになりました。

イエス様が復活されたのち、「わたしはすばらしいことを見た！」とペテロは多くの人に伝えました。ペテロが書いた第二ペテロ 1 章に、そのときのことがしっかり書かれていますよ。

祈り 天のお父様、わたしもペテロのようにイエス様のすばらしさを伝えていけますように。

2 月 1 日 (木)



マタイ 17・1～6

弟子たちはこれを聞いて、ひれ伏した。そして非常に恐れた。 6節

ペテロがまだ話をしているとき、こんどは光りかがやく雲がモクモクとあらわれまし
た！ 雲はイエス様とモーセ、エリヤをつつみこみました。そして、なんと雲の中から神様の声が聞こえてきたのです！ ペテロたちは恐れ
のあまり、ブルブルふるえながらひれふし、
神様の声を聞いたのでした。

わたしたちは、聖書のみことばを聞くとき、どんな姿勢で聞いているでしょう。ブルブルふるえることはなくても、いつも真剣な姿勢で！
みことばに耳をかたむけることが大切です。みことばは、神様の御声なのでから。

祈り 天のお父様、みことばを聞くときは、いつも真剣に耳をかたむけていきます。

2 月 2 日 (金)



マタイ 17・1～6

これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け。 5節

5節にもどって、神様が言われたみことばを聞きましょう。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け」。イエス様は、父なる神様が愛する神の子、父なる神様の喜び。イエス様のことばに耳をかたむけ、従いなさい！ と父なる神様ご自身が言われたのです。

イエス様は、父なる神様がつかわされた救い主です。イエス様に従うことは、父なる神様がいちばん望んでおられること。わたしたちにたいする、ご命令なのです。

祈り 天のお父様、あなたがつかわされたイエス様のみことばに聞き従います。

2 月 3 日 (土)



マタイ 17・1～8

彼らが目を上げると、イエス一人のほかには、だれも見えなかった。 8節

弟子たちがふるえながらひれふしていると、イエス様がポン、と手をおいてくださいました。弟子たちが目をあげると、そこには元の姿にもどられた、いつものイエス様がおられ、ほかにはだれも見えませんでした。イエス様を見あげる弟子たちの心には、「彼の言うことを聞きなさい」という神様の声がひびいていました。

わたしたちのまわりは、イエス様からはなそうとする罪のゆうわくがいっぱい。だから、いつも心の目をイエス様にむけてください。あなたがイエス様のことばに聞き従い、神様の喜びとなりますように！

祈り 天のお父様、わたしがイエス様に目をむけ、聞き従い、あなたの喜びとならせていただけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 18・1～5
子どものように
向きを変えて子どもたちのよう
にならなければ、決して天の御国
に入れません。 マタイ 18・3
子どものようにへりくだった
心で生きる。

目標

2月4日（日）

聖書
聖句

マタイ 18・3
向きを変えて子どもたちのよう
にならなければ、決して天の御国に入
れません。 3節

イエス様の時代の子どもや女の人がどんな
だったか、わかりますか？

人の数を数えるとき、大人の男の人は数え
てもらえても、女の人や子どもは数えてもら
えないくらい、ちっぽけなそんざいだったんだ。

小さな、助けと守りがないと生きていけない
ような子どものこと、イエス様がどんなに大事
にしておられたか、イエス様のおはなしを聞く
と分かるね。

イエス様の愛は、どんな小さな人にもとどい
ていることをわすれないでね。

祈り 天のお父様、どんな人でも愛してくださ
るイエス様をありがとうございます！

2月5日（月）

聖書
聖句

マタイ 18・1
天の御国では、いったいだれが一番
偉いのですか。 1節

おやおや。イエス様のお弟子さんたちが、イ
エスさまの前でケンカしてるみたい。

お弟子さんたちが気になっていたのは「天国
でだれがいちばんか」ということ。

お弟子さんたちは、イエス様ではなく、自分
が偉くなること、自分が得をすることに心が
うばわれていたのです。

この世界では、だれがいちばんかっこいいと
か、いちばん運動ができるとか、頭がいいと
か、そんなことで偉さが決まってしまうですね。

でも、この世界のルールと天国のルールはず
いぶんちがうことを知らなければなりません。

祈り 天のお父様、天国のルールをもっと知っ
ていくことができますように。

2月6日（火）

聖書
聖句

マタイ 18・2
イエスは一人の子どものを呼び寄せ、
彼らの真ん中に立たせて、こう言わ
れた。 2～3節

イエス様は、お弟子さんたちがケンカして、
自分のことばかり考えているのを見て、「コ
ラァー！！」と怒ったりはしませんでした。そ
う、あの子どもをお弟子さんたちのまん中に立
たせられたのです。きっと、だれが偉いかなん
て言っていたお弟子さんたちは、子どものすが
たを見てハッ！ としたでしょうね。

どんなときも、イエス様は、見えるように、
分かるように、まちがいを教え、正しい道にみ
ちびいてくれる良い先生ですね。

イエス様ってすごい！

祈り 天のお父様、まちがいや正しいことをわ
かりやすく教えてくださるイエス様に
感謝します。

2月7日（水）

聖書
聖句

マタイ 18・3

向きを変えて子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。 3節

イエス様は、子どものような人こそが天国に入るよ、と教えてくださいましたね。

この世界で偉いと思われるような人ではなく、神様の守りと助けがないと生きていけないことに気づいた人が、神様から大切にされることを教えてくださいましたんだね。

そして、偉さをくらべあう心がだれにでもあることを、イエス様は知っておられたんだね。

あなたの心の中はどうですか？「向きを変えて！」いっしょに天国に行けるわたしたちでいようね！

いの
祈り

天のお父様、人とくらべて生きる心をいれかえます。天国に行ける心にしてください。

2月8日（木）

聖書
聖句

マタイ 18・4

子どものように自分を低くする人が、天の御国で一番偉いのです。 4節

どうすれば「自分を低く」できるんだろう？

どうせ自分なんか…って思うこと？ いいえ！神様が、あなたを愛して愛して、イエス様を身代わりに十字架にかけてくださったことを知るとき、自分の本当の姿がどんなであるかわかるね。愛がなく、おろかで、小さい、神様にただ救ってもらった自分のことがね。

どうか、いつもイエス様の十字架をわすれず、感謝とよろこびをもって、神様にたよるあなたでいてください！

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしを愛して、イエス様を十字架につけられたことをいつまでもわすれずに生きていけますように。

2月9日（金）

聖書
聖句

マタイ 18・5

だれでもこのような子どもの一人を、わたしの名のゆえに受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。 5節

自分が救われて、天国に行ける者にされたということは、とってもうれしいことです。でも、こんなときのまちがいは「わたしは天国に行けるけど、あの人たちは行けないでしょ」という考え。本当にそれでいいですか？

イエス様が来てくださったのは、滅びる者を救うためでした。そして、あなたが滅びないように救ってくださっただけでなく、今、罪の中で苦しんでいる人たちを救いたいとねがっておられるよ。

いの
祈り

天のお父様、自分が救われたことだけをよろこぶのではなく、もっと救いが必要な人のことも考えていきます。

2月10日（土）

聖書
聖句

マタイ 18・5

だれでもこのような子どもの一人を、わたしの名のゆえに受け入れる人は、わたしを受け入れるのです。 5節

学校に行くと、好きな友だちだけじゃないよね。いじめっ子やいじめられっ子、悪口言う子にちょっと変わった子。そんな子たちのこと「フン」「あっち行け」「きらい」「ムシしょ」って思っちゃうかもしれないね。

でも、イエス様は「受け入れなさい」って言うんだ。神様の愛、イエス様の教えてくれたこと、あなたがもらったたくさんの恵みを、こんどはあなたが伝えていく番だよ。

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしにくださった愛を、どんな友だちにも同じようにあげられますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 19・16～26

金持ちの青年の悲しみ

それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。

マタイ 19・26

目標

砕かれた心でキリストを信じ、救いを受け取る者となる。

2月11日（日）

聖書
聖句

マタイ 19・26

それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。

26節

この世界には、自分がんばれば、なんだって手に入るし、できないことはないけど、神様はなにもしてくれないじゃない！と考えている人がたくさんいます。だから、なんとか努力して良いものを手に入れて安心していいんだね。

でも、人にはどうやってもできないことがあるね。それは、死んだあと、天国に行くこと。

天国や永遠の命は神様のもの。けっしてお金や行いで買えるものではないよね。

そして、天国行きのこたえを知っている人は言うのです。「人にはできないけど、神様にはできるんだよ！」って。

祈り

天のお父様、天国へ行く方法を知っている幸せを感謝します。

2月12日（月）

聖書
聖句

マタイ 19・16

永遠のいのちを得るためには、どんな良いことをすればよいのでしょうか。

16節

この世界では、なにかしてあげたらおかえしは返ってくるものだと考えます。そして、それをそのまま神様にもあてはめて「わたしがこんなにしてるんだから、神様もよくしてよね！」と思ってしまうんだね。

でも、神様はあなたが良い子で、なんでもできる子だから愛してくださるのではないよ。どんなあなたでも、そのまま愛してくださっていることを、わすれないでください。

そしてあなたも、この青年のような考えを心に持っていないか、点検してみてください。

祈り

天のお父様、わたしをそのまま愛してくださることを感謝します。

2月13日（火）

聖書
聖句

マタイ 19・17

なぜ、良いことについて、わたしに尋ねるのですか。良い方はおひとりです。

17節

「良い」は「良い」でも、イエス様は「事」ではなく「方」に注目してほしいと思っているのに気づきましたか？

わたしたちは、なにか起きると行いや出来事だけに心をうばわれて、神様そっちのけ！

でもね、どんな良い事も、ただ自分のためにだけって考えているならさびしいものです。

ほんとうにたいせつなのは、あなたの行いではなく、あなたと神様が、どのような関係にいるかだよ。良い方を見あげてみよう！

祈り

天のお父様、行いで、ものごとの価値をきめるのではなく、あなたとの関係をたいせつにしていけますように。

2月14日（水）



マタイ 19・17～19

いのちに入りた^{はい}いと思^{おも}うなら戒^{いまし}めを守^{まも}りなさい。 17節

イエス様は、この青年に、そしてあなたに、なにを気づかせたかったんだろう？

どんなにみんながそんけいする人も、行^{ひと}いが正しいように見える人も、神様の前に立つとき 100 % 正しい人間^{にんげん}と言えるでしょうか？

ちがうよね、100 % どころか、欠点^{けってん}や失敗^{しっぱい}ばかりの自分に気づくよね。そして、自力で天国に行ける人はいないとわかるはずです。

だからこそ、イエス様の言葉^{ことば}を聞いたとき、「そうだ、救い主イエス様の十字架^{じゅうじか}が必要^{ひつよう}なんだ」と気づくんだね。イエス様の救いを信じるから、神様の前に行けるようになるんだね。

いの祈り

天のお父様、わたしがあなたの前に行けるのはイエス様がいるからです。イエス様の十字架を感謝します。

2月15日（木）



マタイ 19・20～22

青年はこのことばを聞くと、悲しみながら立ち去った。多くの財産を持っていたからである。 22節

イエス様の人生を見ると「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」ということをできと思っていた自分の愛がとても小さいものだった気づくね。イエス様は人に愛を与えつづけ、命まで捨ててくださったんだもの。

あなたが自分の愛の小ささに気づいたなら、この青年のように立ち去らないでください。

神様の前に、愛のない自分であることをみとめてイエス様に従っていくなら、あなたの心にイエス様の愛があふれて、人と神様を愛せる人生に変えられるよ！

いの祈り

天のお父様、わたしの心をイエス様の愛でいっぱいにしてください。

2月16日（金）



マタイ 19・23～24

金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。 23節

神様は、ある人にはお金という祝福をそいでくださることがあるね。でも、イエス様のこのことばを聞くと、目に見えるものには気をつけないといけないうて思うよね？

お金があることが悪いのではなく、気がつけば「神様」より「カネ様」になってしまうからだね。

たいせつなのは、神様の祝福でいただいたものだとか知っていること、そして、それをだれのために、どんなふうに使っていくかだよ。

もちろん、神様と人をよろこばせるために使えたら、いちばんだね！

いの祈り

天のお父様、自分をよろこばせるためではなく、人とあなたのために、いただいたものを使っていきますように。

2月17日（土）



マタイ 19・25

それでは、だれが救われることができるでしょう。 25節

きっとだれもが、自分の心の中をのぞくなら、「こんなわたしが天国にいけるのかな…」って心配になってしまっうね。

そんなわたしたちでも、イエス様は救って今もいっしょに歩んでくださり、天国の道にみちびいてくださるのはなんて幸せなこと！

あなたのまわりにも、天国に行きたいけれど、わからないでいる人たちがいるでしょう。そんな人に出会ったなら、イエス様がどんなにすばらしいお方か、教えてあげてね。多くの人が「不可能が可能になること」を体験できますように！

いの祈り

天のお父様、天国に行けるというしあわせを、たくさんの人と分かち合えますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 20・20～28

仕える生き方

人の子が、仕えられるためではなく
仕えるために、また多くの人のため
の 贖いの代価として、自分のいの
ちを与えるために来たのと、同じよ
うにしてください。 マタイ 20・28

目標

仕える生涯を送られた御子を覚え、仕える生き方をする。

2月18日(日)

聖書
聖句

マタイ 20・26～27

あなたがたの間で偉くなりたいと思
う者は、皆に仕える者になりなさい。

26節

「偉くなりたい!」と思ったことがある人は
いますか? たとえば、「グループのリーダーに
なりたい」「班長やりたい」。そんなこと思わ
ない、という人も、リーダーや目だつ人がいる
と「いいなあ」「あんなふうになれたらな」と、
うらやましくなることがあります。人間って、
人の上に立ちたい! 偉くなりたい! という
思いが、心のどこかにあるものなんです。

今週は、イエス様が本当のリーダーってど
んな人なのか教えて下さいます。あなたが考
えているリーダーのイメージとは、全然ちがう
かもしれません。

いの
祈り

天のお父様、本当のリーダーはどんなリー
ダーなのか、教えてください。

2月19日(月)

聖書
聖句

マタイ 20・20～21

一人はあなたの右に、一人は左に座
れるように、おことばを下さい。

21節

イエス様のところに、ゼベダイの子ヤコブと
ヨハネ、彼らのお母さんがいっしょにやって来
ました。お母さんは「イエス様が王様になった
時、わたしの息子たちがあなたの右と左に座
れますように」と言いました。つまり、「息子た
ちがとくべつに偉い人になれるようにしてく
ださい」とお願いしたわけです。

自分や自分の家族だけ良ければいい、とくべ
つにしてほしい! と思ってしまう危険は誰に
でもあります。どんな場面でそう思ってしまう
かな。考えてみましょう。

いの
祈り

天のお父様、自分や自分の家族のことだけ
を 考えないで、周囲のすべての人のこと
を 考え愛することができますように。

2月20日(火)

聖書
聖句

マタイ 20・22

あなたがたは自分が何を求めている
のか分かっていません。

22節

お母さんをお願いをさせて、自分たちだけが
偉くなりたいヤコブとヨハネ。イエス様は、「あ
なたがたは、お願いしていることの意味がわ
かっていませんよ」と言われました。さらに、
「わたしが飲もうとしている 杯 を飲めます
か?」と質問をされました。「杯」とは、イ
エス様が十字架にかかる苦しみのことです。彼
らはその意味も 考えないで、「できます!」と
答えました。

ヤコブとヨハネは、自分勝手にわがままなお
願いをしていることにまったく気づいていま
せんね。あなたは、どうかな…?

いの
祈り

天のお父様、わたしが自分勝手にわがまま
なお願いをしないよう守ってください。

2月21日（水）



マタイ 20・23

わたしの父によって備えられた人
たちに与えられるのです。 23節

自分勝手なお願いに対してイエス様は、「それは、わたしがきめることではありません。父なる神様がきめることです」とハッキリ言われました。神様が考えて神様がきめられることですから、自分から「偉い人になってください！」とお願ひするのはおかしいことですね。

わたしたちは、つい、自分のお願いばかりを聞いてほしくなります。お願ひするのはよいですが、最後は神様がきめることに従うこと。それがいちばん大切。あなたにとって何がいちばん良いことか、知っているのはあなたではなく、神様ですから！

いの祈り 天のお父様、あなたが決められたことに、すなおに従えるようにしてください。

2月22日（木）



マタイ 20・24～25

ほかの十人はこれを聞いて、この二人の兄弟に腹を立てた。 24節

ヤコブとヨハネが「とくべつに偉くなりたい！」お願ひしたのを知って、ほかの十人の弟子たちはカンカン！なぜって、「自分だって偉くなりたいのに、ずるいぞ！」と思っていたからです。じつは、弟子たち全員が偉い人になりたい！と考えていたのです。

えらそうに人々に命令して、言うことを聞かせる人、…それが偉い人だ、それがリーダーだ、そんな人になりたい、と弟子たちは思っていました。でも、それはまちがった考えです。えらそうにして、言うことを聞かせたい誘惑が、これからあなたに来るかも。守られるように祈りましょう。

いの祈り 天のお父様、えらそうにしたい誘惑から、わたしを守ってください。

2月23日（金）



マタイ 20・26～27

あなたがたの間で先頭に立ちたいと思ふ者は、皆のしもべになりなさい。 27節

イエス様は、「偉くなりたい人は、仕える人になること。リーダーになりたい人は、しもべのように人々をお世話する人になりなさい」と言われました。弟子たちは、思いもよらないイエス様の言葉にびっくり！自分たちが考えていた偉い人、リーダーとはまったく反対のことを言われたのですから。

本当のリーダーは、えらそうに命令する人ではありません。言うことを聞かせるのではなく、苦しんでいる人の話を聞いてあげる人です。お世話係のように、心をこめて人々に仕える人です。これが本当のリーダーなのです。

いの祈り 天のお父様、正しいリーダーがわかりました。やさしく人々に仕えることができます、本当のリーダーになりたいです。

2月24日（土）



マタイ 20・20～28

人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい。 28節

本当のリーダーのすがた、それはイエス様のすがた。イエス様は神の御子なのに、人として生まれてくださいました。世界の誰よりも偉いはずのイエス様が、いつも貧しい人々や困っている人々に仕えておられました。そして、わたしたちのために十字架にかかって、命まで捨ててくださったのです。

イエス様こそ、わたしたちが目指すべき本当のリーダー。イエス様のように人々に仕えることができるよう、祈りましょう！

いの祈り 天のお父様、イエス様にならって、人々に仕える生き方ができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 21・1～11

エルサレム入城

見よ、あなたの王があなたのところに来る。／柔和な方で、ろばに乗って。

マタイ 21・5

目標

柔和な王として来られたキリストを受け入れ、従う者となる。

2月25日（日）

聖書
聖句

マタイ 21・5

見よ、あなたの王があなたのところに来る。／柔和な方で、ろばに乗って。

5節

王様のイメージってどんなだろう？ 強くて、えらくて、金ピカな宮殿に住んで、乗り物だって豪華な馬車で、出来ないことはひとつもない、そんな感じじゃない？

でも、イエス様の姿はぜんぜんちがったね。強くてかっこいい馬、戦争をイメージする馬でなく、平和をイメージするロバ、心優しいロバにイエス様は乗って、エルサレムの町に入っていたのです。

そしてこのことは、イエス様が生まれる何百年も前に聖書に予言されていたことでした。

いのちの祈り

天のお父様、聖書の預言の通りにイエス様が、戦いの王様でなく平和の王様となって来てくださったことを知りました。ありがとうございます。

2月26日（月）

聖書
聖句

マタイ 21・1～2

子ろばがいるのに気がつくでしょう。それをほどいて、わたしのところに連れて来なさい。

2節

イエス様はいつも、どこになにがあって、どんな時に必要か、よく見て、心に留め、知っていてくださるなあ、と思いませんか？

たぶんそれは、神様のご計画をいつ、どんな時に行うのかよく知っていたし、聖書の御言葉がいつもしっかりと心に留まっていたからじゃないかな。

わたしたちも、イエス様の思いや願いがしっかりと心に留まるなら、「ここだ！ これだ！」とタイミングをつかんで神様の喜ばれることを行えるだろうね！

いのちの祈り

天のお父様、あなたの喜ばれることがしっかりと心に留まって、ここだというときに行えますように。

2月27日（火）

聖書
聖句

マタイ 21・3

主がお入り用なのです。

3節

この言葉は、ロバの飼い主への言葉ではなくて、子ろばへのメッセージなんだよ。

そして、イエス様が、小さくてまだ働くことも知らない子ろばを必要だったように、あなたもイエス様に「あなたが必要だよ」と声をかけられていることを知ってください。

あなたがどう働いたらいいのかわからなくても、イエス様はあなたをどう用いたいのか、よく知っているのです。

たいせつなのは、イエス様があなたを「必要だ」と言って選んでくださったこと。あなたの力ではなく、あなたそのものがイエス様にとってはたいせつなんだよ。

いのちの祈り

天のお父様、小さなわたしも、イエス様が必要としてくださることを感謝します。

2月28日（水）



マタイ 21・6～7

イエスはの上に座られた。

7節

こんなふうになりたいなあ！ というお手本になる人はいますか？

イエス様は、その生き方とおして、いつもわたしたちの良なお手本になってくださってるんだよ。

それは、今の世界の人が考える生き方ではないかもしれない。自分の幸せのために生きる方法や、平和を守るための方法も、イエス様とはぜんぜんちがうよね。

そういう、考え方がちがう世界の中で、イエス様から目をはなさないで、平和のことや、どんな風に生きていくか、学んだり、考えたりしていきたいね。

祈り 天のお父様、イエス様の生き方から目をはなさず、いろんなことを学んでいけますように。

2月29日（木）



マタイ 21・8

非常に多くの群衆が、自分たちの上着を道に敷いた。また、木の枝を切って道に敷く者たちもいた。 8節

今の時代みたいに持ち物もそんなにたくさんない時代、服を脱いでイエス様の通るところに敷くというのは、たいせつなものを捨てて従います、という意味だったみたい。

人間は勝手なもので、自分を楽にして、思う通りにしてくれそうな神様に、おじぎをするものなのです。

あなたの心の中はどうか？ 神様はあなたにとって、願いをきいてくれるだけの神様でしょうか。それとも、あなたに永遠の命を与え、あなたを支配できる神様でしょうか。

祈り 天のお父様、心の中を探ってください。感謝します。わたしの人生を導いてください。

3月1日（金）



マタイ 21・9

ホサナ、ダビデの子に。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。ホサナ、いと高き所に。 9節

「ホサナ」は「わたしたちを今お救いください」という意味です。イスラエルの人の言う救いは、ローマの支配から解放されることでした。

だからイエス様が自分たちの思いどおりの王様ではないと知ると「祝福あれ！」と言っていた言葉は「十字架につける！」に代わってしまいました。その自分勝手な人たちのために、イエス様は十字架について死なれたのです。

あなたは、どんな自分を救ってほしいですか。イエス様はあなたのためにも十字架にかかってくださいました。

祈り 天のお父様、自分勝手なわたしのためにもイエス様が十字架にかかってくださったことを感謝します。

3月2日（土）



マタイ 21・10～11

都中が大騒ぎになり、「この人はだれなのか」と言った。 10節

今でも、救いがなんなのか、神様がどなたなのか、イエス様がどんなお方なのか知らないで過ごしている人たちが日本にはたくさんいます。まちがって理解していたり、おとぎ話だと思っている人もいます。

でも、聖書の歴史は本物、イエス様の人生も、十字架も本当に起きたことなのです。

あなたのまわりにも、イエス様や教会に興味がある人はいるだろうね。先にイエス様を知って、信じている人は、どうか、本物のイエス様と救いをお話ししてあげてください。

祈り 天のお父様、教会のことやイエス様のことをお友だちにも紹介してあげるチャンスをください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 22・34～40

一番大切な戒め

あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。 マタイ 22・37
一番大切なこととして、神を愛し、隣人を愛する生き方をする。

目標

3月3日（日）

聖書
聖句

マタイ 22・34～35

そして彼らのうちの一人、律法の専門家がイエスを試そうとして尋ねた。 35節

今週は、イエス様が「いちばん大切」と言われたみことばを学びます。イエス様は多くの人々に尊敬されていましたが、それをよく思わない人たちもいました。サドカイ人たちは、イエス様を困らせようとむずかしい質問をしましたが、イエス様はみごとに答えられました。くやしさいっぱいのサドカイ人のところへ、今度はパリサイ人が、イエス様をためそうとして、またむずかしい質問してきましたよ。

あなたも神様について質問されることがあるかもしれませんね。イエス様の知恵をいただいて答えられるよう、祈りましょう。

いの祈り 天のお父様、神様について聞かれた時、答えることができるようイエス様の知恵を与えてください。

3月4日（月）

聖書
聖句

マタイ 22・36

先生、律法の中でどの戒めが一番重要ですか。 36節

律法とは、旧約聖書に登場するモーセの律法のこと。モーセは、神様からたくさんの戒めを教えてもらいました。パリサイ人たちはさらに、その戒めを細かくして、なんと600以上の戒めをつくりました！ その中で、どれがいちばん大切かなんて、なんかいじわるな質問に感じます。

はたして、イエス様はどれが大切だと言われるのでしょうか。わたしたちにとって、イエス様が言われることが何より大切です。何がいちばん良いのかな？とわからなくなった時、イエス様は何と言われたか、いつも聖書を聞くようにしましょう。イエス様のみことばに、注目！

いの祈り 天のお父様、イエス様のみことばを、何よりも大切に聞いていきます。

3月5日（火）

聖書
聖句

マタイ 22・37

あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。 37節

イエス様が「いちばん大切だ」と言われたのは、「神様を愛しなさい」ということでした。何よりも神様を愛しなさい、心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして。あなたのすべてで、神様を愛しなさい、ということです。

それは、まず神様があなたを愛してくださったから。神様があなたのことを、心を尽くし、いのちを尽くし、思いを尽くして愛してくださっています。神様に愛されていることがわかると、神様を愛していきたいと心から願うようになるのです。

いの祈り 天のお父様、あなたの愛をしっかりと受けとめます。わたしもあなたを心から愛していきますように。

3月6日(水)

聖書
聖句

マタイ 22・38

これが、重要な第一の戒めです。
38節

神様を愛しなさい、というのは、つまりどんなことをすればよいのでしょうか。「神様、大好きです！」とお祈りするの、とってもすてき。でもそれだけじゃなくて、大好きな気持ちを、ちゃんと行動にあらわすことが大切です。それは、神様によることで従うことです！逆に、神様に従わないことは、神様を愛していないことになってしまいます。

「大好きな神様によることでほしいな」と思いながら、心から従うのです。それが神様を愛する、ということ。神様に従って、神様への愛をいっぱいあらわしていきたいですね。これが、いちばん大切な戒め。

いの祈り 天のお父様、大好きなあなたに、心から従っていきます。

3月7日(木)

聖書
聖句

マタイ 22・38~39

あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。
39節

イエス様が「いちばん大切と言われた、それは「神様を愛しなさい」だけではありませんでした。「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」と言われたのです。

神様を愛する人は、人を心から愛するようになります。神様が愛しておられる人々を、自分を大切にするように愛していく人になります。人を愛することは、神様がほんとうによりこばれますから、人を愛さないなら、神様も愛していないことになってしまいます。神様を愛することは、人を愛すること。これはワンセットなんです。

いの祈り 天のお父様、自分を大切にするように、隣人を愛することができますように。

3月8日(金)

聖書
聖句

マタイ 22・39

あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。
39節

イエス様は「隣人を愛しなさい」と言われましたが、あなたにとって隣人って、だれでしょうか。家族、お友達、知っている人とか。

でも、イエス様が言われている隣人ってそれだけじゃないんです。困っている人や、悲しんでいる人がいたら、その人も隣人。さらに、あなたに悪口を言ったり、イヤなことをしてくる人も隣人なんです！むしろ、自分が苦手な人こそ隣人なんです。そんな人を愛することができかな。やさしく親切にできるかな…。自分の力では、無理。でも神様の愛をいただいたら、必ず、心から愛せるようになります。

いの祈り 天のお父様、わたしの苦手な隣人も愛せるように、あなたの愛をください。

3月9日(土)

聖書
聖句

マタイ 22・34~40

この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。
40節

聖書の中にある、たくさんの戒め。その戒めをまとめると、神様を愛し、人を愛しなさい、と言っているのです。つまり、神様と人を愛することが何よりも大切なことなのです。イエス様は、いじわるなパリサイ人の質問に見事に答えられたのでした！

神様には心から従い、隣人には心からやさしさと思いやりを。たとえ苦手な人であっても、その人のために祈る。あなたが神様と人を愛していくなら、まわりの人に神様が伝わっていきます。「神様を信じてる人ってすてきだな」って思われる生きかたをしたいですね！

いの祈り 天のお父様、神様と人を愛して、まわりの人々にあなたのことを伝えていけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 26・26～29

契約の血

これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、わたしの契約の血です。

マタイ 26・28

契約の血として流されたキリストの血を覚え、罪のゆるしを受け取る。

目標

3月10日（日）

聖書
聖句

マタイ 26・26

一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、

26節

今週は、イエス様が十字架にかかれる前の晩のお話です。イエス様と弟子たちは、過越の祭りのお食事をしました。イエス様はご自分からパンをとって、神様に感謝のお祈りをささげられました。

イエス様は、もうすぐご自分が十字架にかかることを知っておられました。それで、弟子たちとの最後の食事の時間を大切にすごされたのです。このお食事が、教会の聖さん式の始まり。イエス様が聖さん式を大切にされたことを心にとめていてください。

いの祈り

天のお父様、イエス様が大切にされた聖さん式を、わたしたちも大切にしていきます。

3月11日（月）

聖書
聖句

マタイ 26・26

取って食べなさい。これはわたしのからだです。

26節

イエス様は一つのパンをとって、それをちぎって、弟子たちにわたしました。そして「取って食べなさい、これはわたしのからだです」と言われたのです。このパンがイエス様のからだ？ イエス様のからだは、わたしたちの罪の身がわりに十字架につけられました。一つのパンをわけたのは、イエス様のからだ、ひとりひとりのために釘づけられたからです。

洗礼を受けている人は、聖さん式のパンを自分の手でしっかりとってください。イエス様の十字架は、このわたしのため、とあなたが真剣に受けとめるためです。

いの祈り

天のお父様、イエス様の十字架はわたしのためだと真剣にうけとめて、パンをいただきます。

3月12日（火）

聖書
聖句

マタイ 26・27

みな、この杯から飲みなさい。

27節

パンを食べたあと、イエス様はぶどう酒の入った杯を一つ取りました。そして、「みんなこの杯から飲みなさい」と言われました。それぞれ自分でとって飲めばいいのに、どうして、わざわざイエス様の杯から飲むのでしょうか。

それは、イエス様の杯から飲む人たちは、みんな一つだということ。イエス様を信じる者同士、一つとなって愛し合うために、イエス様は同じ杯から飲ませたのです。みんなバラバラで自分のことだけを考えるのではなく、一つとなって愛しあうことを、イエス様は願っておられます。

いの祈り

天のお父様、イエス様を信じる者同士、一つとなって愛しあっていますように。

3月13日（水）

聖書
聖句

マタイ 26・28

これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、わたしの契約の血です。

28節

イエス様の杯のぶどう酒には、さらに大切な意味がこめられています。それは、すべての人の罪がゆるされるために、イエス様が十字架で流される血、という意味です。

わたしたちがどんなに良いことをしても、罪はなくなりません。わたしたちの罪がゆるされるためには、イエス様が身がわりとなって血を流すしか方法がなかったのです。聖さん式でぶどうジュースを飲むのは、十字架で血を流されたイエス様を思いだして、悔い改めと感謝をささげるためなのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様がわたしの罪の身がわりに血を流されたことを心から感謝します。わたしの罪をおゆるしてください。

3月14日（木）

聖書
聖句

マタイ 26・28

これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、わたしの契約の血です。

28節

「契約」という言葉は、かんたんに言うと、だれかとだれかが真剣にお約束をすることです。「イエス様が流された血は、わたしの罪の身がわり」と信じる人は、だれでも罪をゆるしていただけます。これはイエス様があたえてくださった、新しい契約なんです！

それまでは、罪を犯すたびに動物の血を流さなければなりませんでした。信じるだけでゆるされるなんて、ものすごいイエス様のお約束。でも、このすばらしい契約を与えるために、イエス様がどれほど苦しんで血を流されたか、けっして忘れないでください。

いの祈り 天のお父様、新しい契約を与えるため、イエス様が血を流されたことを忘れずにあゆんでいきます。

3月15日（金）

聖書
聖句

マタイ 26・29

わたしの父の御国であなたがたと新しく飲むその日まで、わたしがぶどうの美からできた物を飲むことは決してありません。

29節

イエス様は、十字架にかかれたあと、よみがえられ、天にのぼられることを知っておられました。天にのぼってそのまま？ いいえ、もう一度地上におりて来られるのです。その時、イエス様を信じる人々ぜんいんを招待して、またいっしょにお食事をするんですって！ あなたも招かれていますよ！

イエス様は、その日を心から楽しみにして、その時が来るまでは、お祝いのぶどう酒はけっして飲まないよ、と言われたのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様とのお食事を心から楽しみに、あなたを信じてあゆみます。

3月16日（土）

聖書
聖句

I コリント 11・24

これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。

24節

今日のみことばは、パウロが聖さん式についてのイエス様のみことばを教えている箇所です。聖さん式は、イエス様が十字架にかかれる前の晩、弟子たちとのお食事がモデル。教会の聖さん式は、イエス様を中心にした食事のお交わりをしているんです。そう思うとすごく素敵なこと。十字架に釘づけられたイエス様のからだ、流された血をけっしてわすれないように、記念するために行うのです。

命まで捨てて、新しい契約を与えてくださったイエス様。そのことを心から感謝して、聖さんにあずかる人になってください。

いの祈り 天のお父様、新しい契約を心から感謝して、聖さん式に出たいと思います。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 26・36～46
ゲツセマネの祈り
しかし、わたしが望むようにはなく、あなたが望まれるままに、なさってください。

マタイ 26・39
目標
神の御心に従って十字架に進まれたキリストを覚え、信じ、従う者となる。

3月17日(日)

聖書
聖句

マタイ 26・36

それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという場所に来て、
36節

今週は、イエス様が十字架にかかれる直前のお話です。イエス様は、弟子たちを連れてゲツセマネというところに行かれました。何をするためかという、お祈りするため。そこは、イエス様がお祈りするための、いつもの場所だったのです。

イエス様は、どんな時もお祈りするかたでした。さらに、お祈りのためのおきにいの場所があつて、父なる神様とお交わりされていました。あなたにはいつものお祈りの場所ってある？神様とお交わりをなによりも大切にしてね！

いの祈り
天のお父様、あなたとお交わりの時間を大切にしていきます。今週も、みことばとお祈りの時間をしっかりもちます。

3月18日(月)

聖書
聖句

マタイ 26・37～38

わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。
38節

イエス様は、お祈りの中で父なる神様とお交わりすることが大好きでした。ところが、今回はようすがちがいます。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです」と、イエス様の悲しみが爆発しています…！

イエス様が十字架にかかる、ということ。それは、ずっといっしょだった愛する弟子たちに見すてられ、どんな時もひとつだった父なる神様に捨てられ、全世界の人の罪の罰をかわりに受けるのです。わたしたちには想像できない悲しみ。イエス様は、あなたのかわりに死ぬほどの悲しみを負ってくださったのです。

いの祈り
天のお父様、イエス様がわたしのかわりに死ぬほどの悲しみを負われて、胸が痛いです。ただ感謝しかありません。

3月19日(火)

聖書
聖句

マタイ 26・39

わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。
39節

「この杯」というのは、イエス様が十字架にかかれることです。もし、もし、できるなら、十字架にかからないで、苦しみが過ぎさるようにしてほしい…。イエス様にとって、十字架にかかることは、おそろしいことでした。どんな時も父なる神様に従ってこられたイエス様ですが、正直な気持ちを祈りされたのでした。

イエス様は、あなたの罪のみがわりになるため、こんなに悩み苦しんでくださいました。イエス様がこれほどの思いで十字架にかかれたことを、もっと知らなければなりません。

いの祈り
天のお父様、イエス様がこんなに苦しまれたのは、わたしの罪のみがわりとなるためだったことを、心から信じます。

3月20日（水）



マタイ 26・39

しかし、わたしが望むようにはなく、あなたが望まれるままに、なさってください。 39節

イエス様は、「十字架にかかるのはイヤです」と、言う資格のあるお方です。だって、イエス様は罪をおかしたことがなく、罪と関係ない神の子なのですから。それなのに、すべての人の罪のみがわりになるなんて！

でも、イエス様は「イヤです」と言われませんでした。「わたしが望むようにはなく、あなたが望まれるままになさってください」。なんということでしょう、イエス様はこんな苦しみの中でも、さいごまで父なる神様のみこころに従われたのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様のように、どんなときも自分の思いよりも、あなたのみこころを大切にしていきたいです。

3月21日（木）



マタイ 26・40～41

誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っていなさい。 41節

苦しい祈りをされたイエス様が、弟子たちのところにもどられると、彼らは眠っていました。イエス様は、「わたしと一緒に目を覚ましていなさい」（38節）と言われていたのに、そのとおりにできませんでした。イエス様が苦しんでいるあいだ、弟子たちはグウグウ寝てしまっていたのです。イエス様は「誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい」と言われました。

ちょっとゆだんすると、すぐにイエス様のことばかり離れて罪をおかしやすい、わたしたち。そんな誘惑から守られる方法は、いつもお祈りすることだとわかりますね。

いの祈り 天のお父様、わたしが罪の誘惑から守られるために、いつもお祈りすることができますように。

3月22日（金）



マタイ 26・42～46

見なさい。時が来ました。人の子は罪人たちの手に渡されます。 45節

イエス様は、またもどって祈られました。しかし、弟子たちはまた、眠りこけていました。イエス様は、弟子たちをそのままにして、また祈りに行かれました。弟子たちはイエス様とともに祈りませんでした。イエス様はひとりぼっちで、なんども祈り、苦しみをのりこえて「時が来ました」と十字架にかかる決心をされたのでした。

あなたは苦しい、悲しい経験をしたことがありますか？ ひとりぼっちで、想像できないほどの苦しみをのりこえられたイエス様は、あなたの苦しみをわかってくださいます。

いの祈り 天のお父様、わたしが苦しいとき、いちばんわかってくださるイエス様を感謝します。

3月23日（土）



マタイ 26・36～46

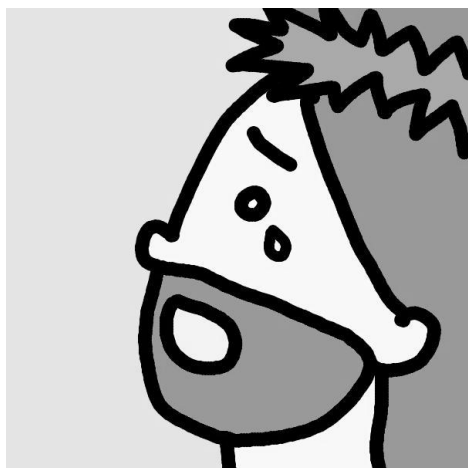
あなたのみこころがなりますように。 42節

「あなたのみこころがなりますように」。イエス様がこのように祈って、十字架にかかる決心をしてくださらなかったら、わたしたちの罪がゆるされることも、天国に行くこともできませんでした。ただすなおに、イエス様の十字架に感謝しましょう。

こんどは、わたしたちがイエス様に従う番です。いろいろなお願いはあるけれど、さいごに「あなたのみこころがなりますように」と祈ってみましょう。イエス様が、あなたのお願いより、さらにすばらしいことをしてくださることでしょう！

いの祈り 天のお父様、イエス様のおすがたを思いながら、イエス様のみこころをいちばんに求めて、従っていきます。

しゅろのひ
棕櫚の日



せいしゅ
聖書
テーマ
あんしやうせいぐ
暗唱聖句

マタイ 27・45～56

じゅうじかじょう
十字架上のイエス

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。

マタイ 27・46

ちく
目
ひょう
標

み が 身代わりの十字架の意味を知り、
キリストを信じて救いを得る。

3月24日（日）

せいしゅ
聖書
せいぐ
聖句

マタイ 27・45～56

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

今年も受難週を迎えました。復活祭は3月31日です。その準備のようにして、今週、イエス様の十字架上の七言を暗誦し、心に刻みつけましょう。一つ一つのみ言葉が「わたしのため」と思って味わいましょう。

きょうのみ言葉は第四言で、ちょうど真ん中の、まさに中心的なものです。わたしや全人類の罪とのろいを本当に背負われたイエス様が、身代わりに神様から完全に捨てられてくださった、その証拠のようなみ言葉です。

いの祈り 天のお父様、わたしに代わって捨てられてくださった主を感謝いたします。捨てられない者としてくださり感謝感激です。

3月25日（月）

せいしゅ
聖書
せいぐ
聖句

ルカ 23・32～38

父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっているのです。 34節

第一言です。十字架のふもととは、罪と汚れと、自己中心とねたみとの渦でした。イエス様をあざけったり、罵ったり、つばきをかけたり、また、イエス様の衣をくじ引きで奪い合ったりと、底のないような人間の醜い姿です。そこから少し高い、血にまみれた十字架の上に、身代わりについてくださった神の御子イエス様の愛にあふれた清いとりなしの祈りです。「何をしているのか、わからずにいるのです」と完全なパーフェクトなゆるしのお祈りです。

いの祈り 天のお父様、イエス様のこの命をかけたとりなしのお祈りで、罪ゆるされ、救われ神の子としてくださり感謝です。

3月26日（火）

せいしゅ
聖書
せいぐ
聖句

ルカ 23・39～43

あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。 43節

第二言です。なんと、十字架のふもとだけでなく、イエス様の両側の十字架につけられた強盗たちさえも、イエス様に悪口を言い続けました。「お前が神の子なら、そこから降りて、われわれも救え！」って。ところが、片方の人の心が変わったのです。きっと、あのとりなしのお祈りを聞いて、神の愛に打たれたのです。「み国の権威をもって来られる時、どうぞわたしを思い出してください」との彼の言葉に、第二言のみ言葉が語られました。

いの祈り 天のお父様、全人類はイエス様の十字架で右と左の二つに分けられます。あなたを信じてパラダイスに行かせてください。

3月27日（水）



ヨハネ 19・23～27

「女の方、ご覧なさい。あなたの息子です」。…「ご覧なさい。あなたの母です」。
26～27節

第三言です。十字架のふもとにいた母マリア。その心はきっと張り裂けるような痛みでいっぱいだったでしょう。かつてシメオンが預言して言いました。「あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう」と。本当にその通りでした。その横に立つ愛弟子ヨハネと共に見ながら、母マリアをヨハネにおゆだねします。その時からヨハネはマリアの面倒を見るのです。十字架、神の愛のあらわれ、その十字架を中心に、神の愛の家族が誕生するのです。苦しみの中の主の思いやりです。

いのり 天のお父様、イエス様の十字架の愛によって結ばれた、新しい人間関係、神の家族を感謝します。祝してください。

3月28日（木）



ヨハネ 19・28～30

わたしは渇く。
28節

第五言です。去年の夏もとても暑くて、よくのどが渇いたことでしょう。肉体の渇きは、十字架の上では、本当に大変なものだったと思います。イエス様がわたしに代わって、これほどの苦しみと渇きを味わってくださいました。何かをもってイエス様の渇きを潤してさしあげたいですね。イエス様は、わたしたちの愛に渇いておられます。わたしたちの清さに渇いておられます。救われる魂がつづいて与えられるよう渇いておられるのです。

いのり 天のお父様、小さいわたしたちももっともって聖書を読んだり、お祈りして、イエス様を愛する子どもにしてください。

3月29日（金）



ヨハネ 19・28～30

完了した。
30節

第六言です。とても短いみ言葉ですが、とても力ある、勝利の叫びなのです。「完全になしとげました！」「完了しました！」「完成しました！」というみ言葉です。何がなしとげられたのでしょうか？ わたしたち一人ひとりを、そして全人類を、罪から救う道、永遠の滅びから完全に救う「あがない」のみわざがなしとげられたのです！誰でも十字架のイエス様を信じるだけですべての罪がゆるされ、永遠の命が与えられる素晴らしいあがないの完成です。

いのり 天のお父様、どの国の人にも、どの時代の人にも、信じるすべての人が救われるあがないの完成。ハレルヤです！

3月30日（土）



ルカ 23・44～49

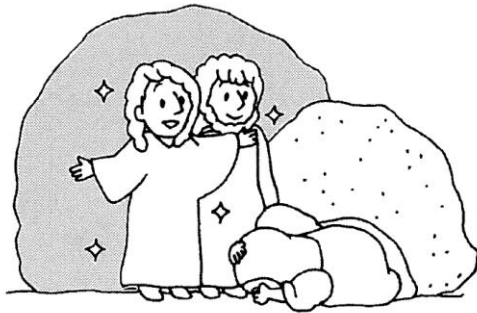
父よ、わたしの霊をあなたの御手にゆだねます。
46節

第七言です。父なる神様からの地上での使命、十字架によるあがないの務めをみごとに果たして、十字架上で言われた最後のみ言葉です。静かに、平安な思いで、「父よ、わたしの霊をあなたの御手にゆだねます」と。

地上での最後の時を、自分がいつ、どこで、どのように迎えるのかは、だれにもわかりません。年をとってから死ぬというわけでもないです。でもイエス様を信じているなら、いつでもでもこの祈りで心安らかに主のみもとへ行けますね。

いのり 天のお父様、イエス様はすべての面でわたしたちのお手本です。しっかりつながって光の中を共に歩んでいきます。

イースター



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 28・1～10

主イエスの復活

ここにはおられません。前から
言っておられたとおり、よみがえ
られたのです。 マタイ 28・6
復活のキリストによって失望や
恐れを喜びに変えて頂く。

目標

3月31日(日)

聖書
聖句

マタイ 28・6

ここにはおられません。前から言
ておられたとおり、よみがえられた
のです。 6節

イースターおめでとう！

イエス様が生まれたこと、十字架で死なれた
ことも大切だけど、イエス様がよみがえられた
この日こそ、とても大切だね。だって、イエス
様がよみがえらなかったら、「死」という問題に
だれも勝てなかったのだから！

イエス様は、よみがえりによって、人はただ
死ぬために生まれてくるものでなく、もう一度
生きることができることを見せてくれたよ！

イエス様のよみがえり、ばんざい！ イエス
様、ありがとう！

いの
祈り

天のお父様、死にも勝ってくださったイ
エス様のよみがえりを心からありがと
うございます！

4月1日(月)

聖書
聖句

マタイ 28・1

マグダラのマリアともう一人のマ
リアが墓を見に行った。 1節

イエス様のお墓には大きな大きな石のふた、
そして、その前にはローマの兵士が立って番を
していました。行っても会えないだけでなく、
捕まるかもしれません。それでも、勇気をだし
て出かけた女の人たちがいたのです。

この時代の女の人たちは、勉強も仕事もゆるさ
れず、弱く力のない立場でした。

でも、弱くてもイエス様を愛する気もちはと
ても強かったね。イエス様なしでは生きていけ
ない、そんな人たちに、神様はふしぎで、とて
も大きなことを体験させてくださるのです。

いの
祈り

天のお父様、この弱いわたしも、あなた
がふしぎで大きなことを体験させてく
ださると信じます。

4月2日(火)

聖書
聖句

マタイ 28・2～4

主の使いが天から降りて来て石を
わきに転がし、その上に座ったから
である。 2節

イエス様のお墓のふたや番兵は、外からも中
からも出入りさせないためのものでした。

でもどうでしょう。番兵は死人のようになり、
ふたはあつというまに開いたよね。人がなんと
かして神様のなさることを止めようとしても、
なんの意味もないのです。

あなたのまわりにも、イエス様に会うことや、
神様のすばらしさが広まることを止めようと
する人がいるかもしれません。でも、神様のわ
ざは何よりも大きく、何よりも強いのです。

いの
祈り

天のお父様、人のすることは、あなたの
前ではちっぽけなものです。ただ、あな
たのわざだけがなることを信じます。

4月3日（水）



マタイ 28・3～5

恐れることはありません。 5節

信仰をなくしそうなとき、勇気がないとき、弱さを感じるとき、「死」がこわいとき…神様は「恐れるな」と言ってくくださるお方です。

神様を信じていない人は、人はがんばることで恐れなくてもいい人になれると考えます。でも、どんなにがんばっても「死」に勝つことはできず、恐れるのです。

わたしたちが恐れなくていいのは、「死」の力にも勝たせてくださる神様を信じて、希望を持てるからだね！

イエス様のよみがえりを信じて希望を持ち、恐れなくて生きていけるあなたでいてくださいいね。

祈り 天のお父様、死ものりこえさせてくださるあなたの力を信じ、恐れなくて生きていきます。

4月4日（木）



マタイ 28・5～6

さあ、納められていた場所を見なさい。 6節

マリアたちがイエス様のところに行ったのは、よみがえったイエス様ではなく、死んだイエス様を見るためでした。

イエス様は何度もよみがえりのことをお弟子さんたちに伝えていたのにね。人は「見る」ことでしか信じられない、そんな弱さがあるね。

「見て」わかるようにと、天の使いは石のふたを開けてくれました。

神様も、いつもわたしたちに分かるように、大きな大きな石のふたがしてあるところ、あなたの「心のふた」までもとりのぞいて「さあ、ごらん」と教えてくださるよ。

祈り 天のお父様、見ることでしか信じなかったわたしの心のふたもとりのぞいてくださりありがとうございます。

4月5日（金）



マタイ 28・7～9

彼女たちは恐ろしくはあったが大いに喜んで、急いで墓から立ち去り、弟子たちに知らせようと走って行った。 8節

よみがえりのイエス様のことを体験しても、「うそみたい」と思っちゃう人もいたみたい。でも、そんな人によみがえりのイエス様が本当にあらわれてくださったから、命をかけてこのことを知らせ、全世界にイエス様のことが広まってきたんだね。

マリアたちも走って伝えに行き、イエス様に出会ったよ！

イエス様だけが本当の救い主、イエス様だけが礼拝を受けるのにふさわしいお方だね！

祈り 天のお父様、イエス様だけが、礼拝するべきわたしの救い主です。

4月6日（土）



マタイ 28・10

行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えます。 10節

そういえばイエス様のお弟子さんたちはどうしちゃったんだっけ？

じつはイエス様が捕まったとき、お弟子さんたちは恐くなり、逃げてしまったんだ。信じて従ってきたはずだったのに…

でもね、イエス様はそんなお弟子さんたちを「裏切り者」「いくじなし」とは言わず、「兄弟たち」と言っておられるよ。

人の、イエス様への態度が変わったとしてもイエス様の態度は変わらず、人を愛しつづけ、出会い、はげましてくださるんだね！

祈り 天のお父様、すぐに態度の変わるわたしにも、変わらないイエス様の愛があることを感謝します。